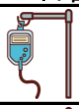
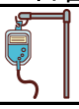
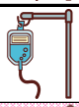
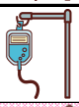
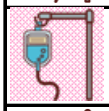
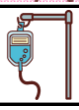
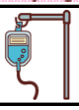
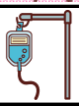
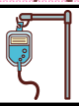
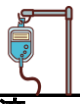
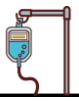
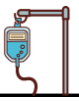
FOLFOX4の治療をお受けになる方へ

腫瘍は、正常細胞に比べて分裂増殖が盛んです。
FOLFOX4は、分裂増殖が盛んな細胞に作用します。
正常細胞でも分裂増殖が盛んな細胞は、薬の影響を受けやすく副作用として現れてきます。
以下に、FOLFOX4による治療の副作用をご説明しますがこれらの副作用がすべての方に必ず起こるわけではありません。

点滴の前に抗アレルギー薬（フェキソフェナジン）を服用します

薬の名前	1日目	2日目	3～14日	15日目	16日目	17～28日
ﾃﾞｷｻｰﾄ・ｸﾞﾗﾆｾﾄﾛﾝ　15分						
①オキサリプラチン　2時間 （成分名；オキサリプラチン）						
②レボホリナート　2時間 （成分名；レボホリナート）						
5-FU　10分 （成分名；フルオロウラシル）						
5-FU　22時間 （持続点滴）						

1日目と15日目の①②は同時に点滴
症状や経過に合わせてお休み期間は変わります。

◎副作用について

●食欲不振・吐き気

程度の差はありますが、ほとんどの方に認められる症状です。

点滴治療の場合には点滴終了後3日程度と言われています

症状が強い場合は時期に合わせて、吐き気止めのお薬を追加することがあります。

●疲労感

身体がだるく感じたり、疲れやすさを感じることがあります。多くは点滴後3日間程度と言われています。この期間は無理をせず休息をとるほか、散歩など気分転換をはかるとよいと言われています。

●骨髄抑制

白血球が少なくなると、病原菌に対する体の抵抗力が弱くなり、感染症を起こしやすくなります。そのため、手洗い・うがいを心がけましょう。

特に治療期間中38.0度以上の発熱、37度台であっても悪寒や咳、のどの痛み、排尿時の痛みなどがある場合は感染症にかかっている場合があるので病院へ連絡しましょう。

赤血球が減少することで貧血になる場合があります。

血小板は止血に働くため減少が強いと出血しやすくなります。歯茎からの出血や鼻血の症状に注意が必要です。

●下痢・便秘

１日３回以上の排便回数の増加や水様便が出ることがあります。

症状が続く場合は、脱水症状を防ぐため水分補給を行ってください。

症状に合わせて下痢止めを使うことがあります。

また、便秘になる場合もあるので便秘の場合は下剤を使用することがあります

●口内炎

口の中・歯肉・咽頭がしみる、ひりひりする、赤くなるといった症状が出ることがあります。

口内炎は予防がもっとも大切です。口の中を清潔に保つよう心がけましょう！！

●血管痛・静脈炎、注射部位熱感・局所痛

薬が血管を刺激するため、治療中に血管の痛みや腫れが起こることがあります。また、数日後にも発赤、腫脹、熱感などを感じる場合があります。異常を感じたらすぐにお知らせください。

●間質性肺炎

息切れ、呼吸苦、せき及び発熱の症状が続く場合は早めに相談しましょう。

●オキサリプラチンの末梢神経障害

急性の症状・・・手足、口のまわりのしびれやチクチクする痛み、舌の感覚がおかしい、のどがしめつけられるなどの症状があります。点滴した直後から2-3日程度の間みられる場合が多く、冷たいものの刺激で誘発されます（ドアノブ触れたときの静電気のような症状）通常数日で回復します。（冷たいものに触れると末梢神経障害が悪化するといわれているので症状があるときは冷たいものを避けましょう

慢性の症状・・・治療を繰り返してオキサリプラチンの投与回数が多くなると手足の持続的なしびれや痛みが生じてくることがあります。（日常生活に支障をきたすこともありますのでボタンがしにくい、つまづいてこけそうになる、箸がもちにくいなどの症状があるときは我慢せずに相談しましょう）

●アレルギー

発熱、寒気、ふらふら感、しびれ、呼吸困難、かゆみ、発疹、紅潮、眼や口の周囲の腫れ、発汗が起こることがあります。点滴を初めて受けたときにあらわれる場合と、何コースか繰り返した後で起こる場合があります。

これら以外の副作用があらわれる場合もありますので、
気になる症状があらわれた際には必ず医師、薬剤師または
看護師にご相談ください。

担当薬剤師